

彼女とは結婚できないから、
きょうだいで結婚していないのは私だけ

親の介護のために、
私が退職するしかなかった

介護している人の中にも
LGBTがいるって、
知って欲しい

ippo.

日本では、LGBTであることを周囲に伝えること(カミングアウト)ができる人は、まだまだ少数です。きょうだいや親にも言えない / 言いたくない人が多いのが現実です。そうした状況の中、親から見れば、多くのLGBTは、未婚の娘 / 息子になります。そのため、親族が要介護となった場合、家庭での介護のキーパーソンとしてLGBT当事者が頼りにされるケースが出てきています。介護業界で働くLGBTも多いのですが、介護する人 / される人にもLGBTがいる、ということは想定されていない現場が多く、様々な問題が起きています。例えば、法定の介護休暇には、対象家族の範囲に同性パートナーの親は含まれていません(企業によっては、福利厚生の一環として、介護休暇の範囲に認めるところもあります)。介護の問題もLGBTの社会的困難のひとつであることを、是非知っていただきたいと思います。

このパネルは、平成28年度 淀川区LGBT支援事業の一環として、大阪市内のLGBT当事者の声を集めて制作したものです。LGBTは、以下の4つの単語の頭文字であり、ここでは性的指向や性自認におけるマイノリティ(少数者)の総称としています。

L レズビアン 同性を好きになる女性 **G** ゲイ 同性を好きになる男性 **B** バイセクシュアル 性別にかかわらず、同性を好きになることもあれば異性を好きになることもある人 **T** トランスジェンダー 出生届の性別とは異なる性別のあり方を望む人

LGBTは人口の5~8%程度とされていますが、学校、職場、地域など、自分の周囲にカミングアウトできない人も多く、見えにくいマイノリティです。このパネルは、そうした人たちの声を可視化する目的で制作しました。笑顔の裏にも見えにくい「困りごと」を抱えている人たちが自分の身の周りにもいるかもしれない、と、想像しながら見てほしいと思います。

